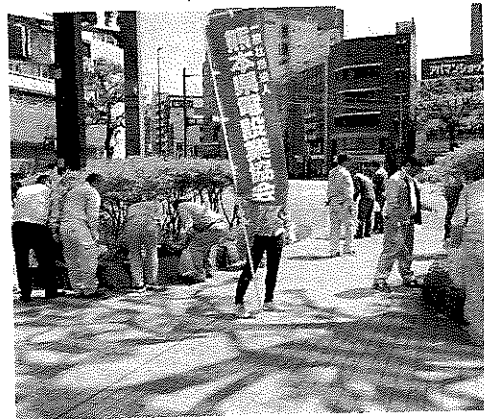


## 150人で清掃奉仕

県電設協、熊本高森線を美化



員長が事故防止の徹底を呼びかけた上で、「震災復興で大変な時に多くの方に参加頂き嬉しく思う。活動を通して企業間の親睦も深めてもらいたい」と挨拶した。

協会の清掃活動は、熊本高森線の管理が熊本市へ移行される以前から県と「ロード・クリーン・ボランティア」協定を結んで続けており、今回で通算17回目となる。

熊本県電設業協会(岩崎裕会長)は20日、熊本市中心街の熊本高森線で道路清掃作業を実施した。

熊本市との協定に基づく「道路ふれあい美化ボランティア活動」で、会

員とその家族ら約150人が参加。大甲橋から桜町交差点まで(約1・5き)の歩道に捨てられたゴミを1時間かけて拾い集めた。

出発式では、協会安全福祉委員会の一利明副委